

総会開催のお知らせ

小松工業(実業)高校同窓会関東支部の第21回
総会・懇親会が11月24(土)に開催されます。

詳細は同封の案内書をご覧になり、同封のハガキ
に出・欠、氏名等を記入し、期日までにお忘れなく
返信して下さい。

第24号
平成30年9月

関東だより

小松工業高校同窓会関東支部

関東だより編集委員会
発行責任者 石川隆治

ミニ同窓会開催

昨年は関東支部の総会
予定がなかったため、各種ミニ
同窓会の開催を計画して
おりましたが、前回に続き
今年開催された1件を報
告致します。

***** 35年電気卒ミニ同窓会 *****

山本幹夫(昭和35年E)

今回で2回目となるミ
ニ同窓会を4月20、2
1日箱根大平台温泉にて
開催しました。

参加者はメンバー6名
のうち5名(1名は不幸が
あり欠席)でした

当日は初夏を思わせる
好天に恵まれ「萌黄の彩
り」と「小鳥と河鹿蛙」の鳴
き声につつまれた旅荘で、
心ゆくまで温泉を堪能し
ました。

高校時代、故郷、携わっ
てきた仕事のこと、近況な
どの話に花が咲き夜の更
けるのも忘れる程でした。
とくに昨年10月、クラ
ス会が芦原温泉であり、送
られてきた写真を見なが
ら「これは誰だ」「随分変わ

ったなあ」など、卒業して
からまもなく60年、時の
流れを実感した。

また、41名中7名が鬼
籍に入っている。こんなこ
とから「元氣なうちに」が
口癖となったクラス仲間
でした。

今年はみんな(喜寿)を
迎える年でもあることか
ら、秋頃に再度開催しよう
ということになりました。



前例左から西野直之、無量
江武、山本利為、後列左か
ら山本幹夫、中谷成人



全国大会の応援記

ボウリング

昨年12月の応援に引
き続き、川崎グランドボウ
ルで開催された第42回
全日本高校ボウリング選
手権大会の応援に行っ
てきました。

今回は母校より個人戦
に3選手が出場し、予選3
回戦計9ゲームで決勝進
出を争うものでした。

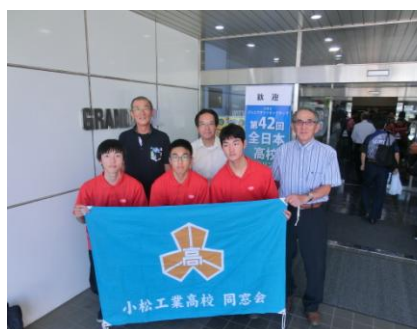
男子は188人が参加
し、上位28人が決勝進出
するのですが、1回戦で
の成績では決勝進出ライ
ンに入っていた選手がい
たものの、後半のスコアが
伸びず、3人の中の最上位
でも63位という結果に
終わりました。

それでもエース玉田力
也選手の平均スコアは1
91というハイアベレー
ジです。なお、優勝者のア
ベレージは227点です。
予選終了時、引率の先生
やコーチの方と挨拶させ
ていただきましたが、2年
生の有力選手が2人おり、
12月の全国大会チーム

戦の活躍に期待したいと
思います。

今回は関東支部より3
人の応援でした。(石川支
部長、世戸幹事、寺越)
選手は写真の左から、角
政樹君(3年)、鎌谷純暉
君(2年)、玉田力也君(2
年)です。

寺越健太郎
(昭和47年A)記



玉田選手の投球

回り道も良し



山下哲郎
昭和39年E

就職時、地元で大きな会社があった。電気の仕事ができると思って就職試験を受け、ここに入れた。小松製作所栗津工場であつた。

よかつたと思つていたら、配属が板金であつた。ちよつと違和感を感じながら、3か月の実習で溶接の作業をみっちり教えてもらった。正式に配属になり、この仕事を1年近くしながら、その間、板金、溶接、半自動溶接や、溶接資格の検定の講習や試験を受けた。

動力の人を見ると羨ましも感じた。電検二種を取ろうと思ひ、勉強を始めた。大きな工場では電気に携わるには二種が必要であつた。

会社には、社内教育の制度があり、これに受験して、幸いにも受かり、二年間勉強できることになった。学校でも、時間があれば、電検の勉強も続けた。

意に添わなくても、仕事を一生懸命やつていれば無駄にならないと思つたのは専門学校に入つてからのことです。学校では大半が機械系の授業が多かつたが、板金でやつていた作業、講習や経験が参考になつた。治金の話では溶接の溶けている時の状態が治金の一種であつたことや、強度の話でも、非常に参考になつたからである。

学校を卒業し、希望を出し川崎工場に転勤して、生産技術部設備課動力係に配属となり、やつと念願の電気関係の仕事に就けた。動力係で半年位で制御系(弱電)に担当が変わり生産設備の保守及び管理であつたが、年次点検等は配電(強電)の作業に当たつた。

この仕事においては、溶接は直接必要でなかつた。

が、バックデータのようになつた。以後、回り道も無駄ではないとの思ひは変わらなず、直接仕事に関係ない仕事でも、興味を持つて行つた。最初に入つた板金係のお世話になつた人々には1年で去り、この話をする機会もなく、申し訳なく思うと同時に感謝しています。

その後、製品の移管と共に小山工場に転勤になり、五十歳を超えて、やつと二種の試験をパスして、小山工場の電気主任技術者を4年ほどやらせてもらった。

決心の付かない日々

昭和46年電気科卒業の福岡徹と申します。関東に出て来て33年になります。

趣味の話を致します。

学生の頃に原付の免許を取り、34歳の頃に一旦バイクに乗る事を諦めて居たのですが、転勤先の上

司から「レースに出るのでサポートをしたい」と頼まれ、軽い整備は出来るので、少しばかりお手伝いをさせて頂きました。

その上司が転勤し、後任の室長に「Fさんはバイクの話が分かる」と申し送りがあつた様で、着任時から連日の様に「ツーリングに行きましよう」と誘われたのですが、その都度乗る車

自分の技量に限界を感じていたからと、友人を亡くしたからで「整備は続けるが、バイクは乗らない」墓前で話したのに、10年も経ずに覆した事は、少なからず反省している。

ただ、その友人に「お前の分まで楽しんで生きる」と言つてから10年近く経つたので「そろそろ乗つてもいいんじゃないの?」

と言つてくれているような気がした。

その頃原付のスクーターならば一数台あつても、室長の大1型バイクに



両が無いとか、勤務の都合が合わない等の苦しい言い訳をしながら断り続けていた。

しかし、余りに熱心に勧められるので、取り敢えず同好会を作り、ツーリングの計画や宿の手配を行う役割をしてご勘弁頂いたが、室長も同好会の仲間を押され、とうとう「業務命令」を發動させてきた(笑)。

バイクを降りた理由は、

同行出来そうな車両は、未整備でタイヤのゴム質が硬化してたしかなくて、勤務の合間を縫つて、取り敢えず「走る、曲がる、止まる」の基本動作は出来る状態に仕上げ、片道150km程の日光へのツーリングに室長と二人で出掛け

た。しかし、やつつけ仕事に有りがちな事で、途中で二

気筒の片側が不調になり、路上整備を繰り返しながら走行し、予定より一時間遅れで日光に到着した。

帰路は問題無く走行出来たが、生憎の雨模様となり「腕も、タイヤもお粗末なので、雨中走行は60km前後でお願いします」と伝えても、室長のBMWは10分もしない内に80kmに速度が上がっていた(苦笑)。

このツーリングで、10年振りに乗り「この人と走るならば、もう一度本気で乗っても良いかな?」と、思った事は今でも忘れない。

その後、50ccのカブで24時間に1000kmを走ると言うイベントに挑戦したり、1000ccのシャフトドライブの車両を手に入れたりして、関東近県の温泉巡り等を楽しみながら、順調にバイクライフを楽しんでいます。

車もバイクも自分で手入れをするので、整備と車検の費用は実費のみです。その為、引き取る台数も増え、家族からは「1年間

に1台づつ乗っても、(身体が動く内に)全部乗り切れるの?」と言われる始末、いずれは処分せねばと思いつつも、集めた時の思い出が詰まる車両に。決心の付かない日々を送っています。

小さな後継者

荒又頼子(昭和47年A)

私が生まれ育ったところは、人口一万人足らずの小さな温泉町今は加賀市に合併されて加賀温泉郷の一つになりました。

高校進学と共に小松駅を利用しての通学、その頃は小松駅周辺も賑わいおきな街でした。冬の降雪時には長靴で家を出ても小松には雪が無く変えの靴を持参した思い出もあります。

進学と同時に御稽古を始めたのが茶道です。お転婆者の私はなぜか? 静寂なる御稽古を始めたくて本家が茶道具の漆器を扱

っていたからかどうかは分かりませんが同級生と共に門をたたいたのであります。

利休百首には「その道に入らんと思う心こそ我が身ながらの師匠なりけれ」まずはその思いを頂いたことが嬉しく思い出します。

それから半世紀休まず続けて参りました。十五年前に自宅を新築した時に主人からのプレゼントとして四畳半の茶室をプラスしてもらいました。自宅での御稽古が始まり月一回の御稽古が今では毎週水曜日は出稽古、月四回の自宅稽古で教える立場にかかりました。

「継続は力なり」身を以ての経験です。そして今三歳になる孫娘に茶道を教える喜びを噛みしめています。決して子供に教えることは容易くないですが成長を見守られる事に感謝をしているこの頃です。

皆様も趣味をお持ちのことでしょう。幾つになっても好奇心を持ち続け学べる楽しさ、生きがい繋

がつているのではないのでしょうか。どの世界でも後継者不足、いかに興味を飽きさせずに続けさせるか、これからの課題です。



※写真はお茶の仲間たち、前列右から2番目が孫娘と私です。



創立70周年記念事業(校門)

母校創立80周年記念事業

小松工業学校が昭和14年に創立され、幾多の変遷を経て、小松工業高校は来年80周年を迎えます。

本部同窓会の記念事業実行委員会は、母校の教室内に大型ディスプレイ設置や部活振興事業推進のため校外移動用車両購入等を行います。

同窓会会員には上記状況にご理解を賜り、既にご案内のご寄付を宜しくお願いいたします。

振込用紙紛失の方は下記にお願いいたします。(手数料は負担願います)

ゆうちょ銀行 口座番号 00740-2-42278

加入者 石川県立小松工業高校

創立80周年記念事業

幹事会

今年2回目の幹事会が8月25日、J R田町駅前の「海鮮問屋地魚屋」にて行われた。当日は猛暑にも関わらず、12名の幹事が集結した。

主な議題は、11月の総会・懇親会の開催準備である。前回の反省を踏まえて、タイムスケジュールを見直したり、各幹事の役割分担の確認をした。



総会開催前には、幹事3役等で会場にて最終調整プチ幹事会を行う。

小松ロケのTV放送

NHKドラマ「いよつ！弁慶」放送は10月31日(水)BSプレミアムにて午後9時から。舞台はなんと石川県小松市！皆さん是非ご覧ください。小松駅や馴染みの市内が映るそうです。(情報提供：寺越)

全国大会の主な結果

① 全国ものづくりコンテスト

昨年11月広島で開催された全国大会旋盤部門で、土山稜人さん(当時機械科3年)が、旋盤部門で日本一に輝いた。

② ウエートリフティング

インターハイが三重県亀山市で行われ53kg級で中本唯人選手(3年)が、スナッチ87kg、ジヤーク112kg、合計199kgで2位に5kgの大差をつけて優勝しました。



笑顔で成功
中本唯人選手
53kg級で優勝

また、77kg級で坂下碧選手が13位と検討しました。

③ 少林寺拳法

インターハイが三重県亀山市で開催され、団体演武(6人で行うもので、技の内容、表現力、きれいに

そろっているかなどが審査の対象)で、母校は8位入賞しました。また組演武(2人1組)では15位でした。

④ ボウリング
1面に記載。

関東支部の新人会員紹介

今春、卒業生が就職や進学で左記4名の方が関東地区で生活を始めています。

大塚匠さん(電気)
鈴木和稔さん(電気)
通次秀人さん(機械)
幸前晴彦さん(建設)

今年の総会には、林校長先生や岩田先生も出られますので、新人会員も出席されますよう期待しております。

連絡事項

●寄稿・ご意見等

関東だよりへのご意見や投稿をお待ちしています。投稿内容は、800〜1000字程度で、仕事・家族・最近思うことでもなんでも結構です。

●同好会活動

スポーツや芸能など有志で活動したい方は非ご連絡下さい。

●情報提供

母校や同窓会のニュースをお伝えしており、現在約50名の方が登録されています。

ご希望の方はPC又はスマホのメールアドレスを左記まで随時連絡して下さい。

192-0372 八王子市下柚木2の22の27石川隆治
ryuji27@gaz. so-net. ne. jp

同窓会の動き

●関東支部

- ・8月25日…幹事会
- ・9月関東だより発行
- ・11月24日(土)

総会・懇親会

- ・平成31年1月幹事会
- ・平成31年3月関東だより発行

●本部

- ・7月2日…総会・懇親会
- ・8月…会報発行
- ・平成31年10月
創立80周年記念式典

●白山能美支部

- ・7月1日…総会・懇親会

●金沢支部

●加賀支部

●中京支部

- ・8月5日…総会・懇親会

●関西支部

- ・10月20日…総会・懇親会

関東だよりは、関東地区在住の同窓会会員のために発行しています。ご意見、ご投稿又は住所を変更された方、紙面広告を希望される方は下記までご連絡ください。

編集担当、総務幹事：中屋豊司
住所：〒235-0041 横浜市磯子区栗木 1-21-10
TEL・FAX：045-774-9140
E-mail：to-nakaya.f@abeam.ocn.ne.jp